

安全・安心な生徒引率等に係る実態調査の結果を公表します

令和8年5月に磐越自動車道で発生した部活動遠征中のバス事故を受け、本県における「安全・安心な生徒引率等に関する指針(仮称)」の策定及び今後の支援策等の検討に活用するため、生徒引率等の実態調査を実施しました。

その調査結果をとりまとめましたので、別添のとおりお知らせします。

調査目的

部活動等の引率実態や課題を把握し、安全管理方策・支援策の検討材料とする。

調査対象校

公立 小学校、中学校(それぞれ抽出28校)、
県立特別支援学校(全18校)、県立高等学校(全77校:全日制・定時制・通信制)
私立 小学校(8校)、中学校(10校)、中等・高等学校(17校)、高等学校・通信(12校)

調査内容

部活動等における移動手段・運転者、長距離移動の状況、生徒引率に関する規程や安全管理体制、学校現場が感じている課題 等

主な調査結果

- ・県立高校の部活動等における移動は、教職員による運転と、保護者送迎等による現地集合が大部分を占めました。
- ・県立高校では、長距離移動になるほど教職員による運転の割合が高まり、引率、運転、現地指導等の負担やリスクが教職員に集中する傾向が確認されました。
- ・生徒引率に関する規程等の整備状況には、校種による差がありました。
- ・多くの校種で、教職員負担や費用負担などが課題として挙げられました。

【調査結果詳細】 調査結果の詳細は下記ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/hokenko/hoken/tyousakekka.html>

今後の対応

県土が広い本県の実情を踏まえ、公共交通機関や貸切バス等の利用を基本としつつ、リスクの高い場面における安全管理の考え方や学校による組織的な安全管理のあり方を示す指針について、引き続き庁内ワーキングチームで検討し、策定する予定です。

併せて、教職員の長距離移動における負担やリスクの軽減を図るため、必要な支援策についても検討します。

個人と社会の
ウェルビーイングの
実現



第4次長野県教育振興基本計画 推進中!



学び応援キャラクター「信州なび助」
©長野県教育委員会信州なび助

(問合せ先)

担 当 長野県教育委員会事務局
保健厚生課 保健・安全係
塚田、川野

電 話 026-235-7444(直通)
026-232-0111(代表) 内線 4447

E-mail hokenko@pref.nagano.lg.jp